

令和2年度
第1回留萌市公共施設整備検討会議
議事概要

○日時／令和2年10月30日（金）15:00～17:00

○場所／留萌市役所3階 3・4号会議室

○出席者／委員 炭谷座長、向井副座長、大石委員、堀松委員、佐々木委員、
伊藤委員、藤田委員、笠井医院、小沼委員、神部委員、坂本委員、
堀口委員、高橋委員、大和委員、遠藤委員、伊端委員、大館委員、
串橋委員、谷委員、田村委員 ※順不同

オブザーバー 赤坂部長（代理：林係長）[留萌振興局]、安田課長、小林課長

事務局 海野課長、林係長、高橋主任

運営支援 (株)ドーコン 山本、佐竹、浦島、佐藤

1. 開会

2. 委嘱状交付

－中西市長より各委員に委嘱状を交付。

3. 市長挨拶

－中西市長よりあいさつ、あいさつ後退席。

4. 座長選任、副座長指名

－事務局より、座長選任について立候補の提案。

（〇〇委員）

・事務局案があれば提示してほしい。

（事務局）

－事務局より炭谷委員を座長に推薦。

－全会一致で、炭谷委員を座長として選出。

－炭谷座長より向井委員を副座長に推薦。

－全会一致で、向井委員を副座長として選出。

5. 概要説明

(1) 留萌市公共施設整備検討会議設置要綱について

－事務局より、留萌市公共施設整備検討会議設置要綱について説明。

－質疑・意見確認

（〇〇委員）

・第1条に記載の「立地誘導」とは、何を指すのか。誘導という言葉はなくてもよいのではないか。

(事務局)

- ・新たな公共施設を立地し誘導するという意味。人ではなく建築物を指す。また誘導という文言が必要かどうか再度検討する。

(〇〇委員)

- ・第6条に記載の「所定の手続」とは具体的に何か。公募に応じた、もしくは市長推薦の場合どのようになるのか、但し書きを加えてはどうか。

(事務局)

- ・委任状等の提出をお願いしたい。また、但し書きについては検討する。

(2) 会議の位置づけ及び今後の進め方について

－事務局より、会議の位置づけ及び今後の進め方について説明。

－質疑・意見確認

(〇〇委員)

- ・議論した結果、駅前周辺地区への立地となるのは良いが、最初から決め打ちしている気がする。複数の候補からたどり着くというプロセスが重要だと考えているため、場所の問題も議論するという認識でよいか。

(事務局)

- ・市としては、有力な候補地として示している。様々な意見がある中で、駅前周辺地区への立地が決まるというプロセスが望ましいと考えている。現段階では、様々な議論を行うことで問題はない。

(3) 道の駅るもいの開業効果及び今後の整備計画について

－事務局より、道の駅るもいの開業効果及び今後の整備計画について説明。

－質疑・意見確認

(〇〇委員)

- ・道の駅にて今後開業が予定されている屋内交流・遊戯施設は、市民のためのものなのか、来訪者のものなのか。また、飲食施設についての展望も教えてほしい。

(事務局)

- ・屋内交流・遊戯施設については、市民、来訪者を問わず親子で利用できる施設を目指している。また、飲食施設については、現在の仮設アンテナショップを屋内交流・遊戯施設内に移設する予定であり、加えてカフェも併設する予定である。既存のチャレンジショップは期間を延長するか、将来的には物販棟の建設も検討している。

(〇〇委員)

- ・JR問題が解決しないと分からない点もあると思うが、市として、駅周辺のどのあたりに社会教育施設を立地させたいと考えているのか、構想があれば教えてほしい。

(事務局)

- ・駅裏ではなく、駅前に立地させたいと考えている。

(〇〇委員)

- ・屋内交流・遊戯施設の発想については、市民の声を聴いてのことなのか、市の内部で決めたのかを教えてほしい。

(事務局)

- ・市プロジェクトチームにて、内部協議した案である。

(〇〇委員)

- ・現状では来場者数等は伸びているが、大したことがなかった等の声も聴いている。税金を利用して整備するので、税収増につながるような施設として、目先のものにならないよう、慎重に議論を進めてほしい。

(〇〇委員)

- ・駅前には狭隘なスペースしかないが、どのような施設を考えているのか教えて欲しい、また、現在の社会教育施設の跡地利用はどのように考えているのか。

(事務局)

- ・JRの廃線も見据え、駅舎などの利用やその後の駅の賑わいを保つためにも検討している。現在の社会教育施設の跡地活用は、立地的に公共交通との結びつきが悪いことや、急傾斜地の麓にあるという点で難しいと考えている。

(〇〇委員)

- ・委員の質問に事務局が回答することで決めるではなく、検討会議で討議をして決めていくことが重要ではないか。

(事務局)

- ・今回の資料や質問への回答は庁内で検討した結果を説明している。今後の検討については、本会議にて議論の論点整理を行いながら進めていきたい。

(4) 公共施設建替の必要性について（留萌市公共施設庁内検討会議の結果報告）

－事務局より、公共施設建替の必要性について（留萌公共施設庁内検討会議の結果報告）を説明。

－質疑・意見確認。

－炭谷座長判断で、その他がある場合は、6.意見交換で確認することとする。

6. 意見交換

(1) 意見交換

－4グループに分かれて意見交換を実施。

(2) 意見交換の結果報告

①Aグループ

－〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・施設の立地場所をどこにすべきかの議論が大切である。20年～30年先を見通して市民が集まりやすい場所であるべき。立地場所は、国道沿い、バス路線沿線、風向き考慮した位置などの意見があった。
- ・社会教育施設の複合化は運営の効率化の観点からも必要。
- ・施設機能について、文化センター、公民館、スポーツセンターに限らず、文化的機能は図書館と一緒にするなど、類似機能を集約するという考え方もある。
- ・その他の導入機能として、温浴施設、コンベンション機能などが考えられる。
- ・検討にあたっては、利用団体や若者、主婦など幅広く市民の声を聴いてほしい。ワーク

- ショップを複数回開催、委員の横の繋がり活用の活用など数多くの意見聴取に機会が必要。
- ・対象施設として、「ふるも」についても考えるべき、「ふるも」に防災施設を整備するのではなく文化センターを活用する方法もある。
 - ・津波・洪水の浸水深などの想定を伝えた上で議論をすべき。
 - ・400人規模の集会・会議などができるコンベンション機能も必要。
 - ・チャレンジショップは、客の入込等を踏まえて定期的な入替を考えた方がよい。出展者には市の考え方などを十分に説明することも必要。
 - ・人を集めるという観点から、例えば高台地区の市営住宅を施設周辺に移転整備することも考えられる。
 - ・運営に係る負担軽減のために、施設内に収益施設の導入も必要。

②B グループ

一〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・会議設置にあたり利用者の意見を聴くべき、利用団体が公募以外の会議メンバーに入っていないのは拙い。
- ・駅周辺地区への立地誘導をイメージできる図面がない。次回資料には駅周辺地区の活用イメージがわかる資料が欲しい。
- ・駅の活用を前提とした際の想定される費用負担に係る資料もつけて欲しい。
- ・文化施設と体育施設が一体でなくてもよいのではないか。整備費について単独と複合の検討も必要。
- ・バレーの利用場所が使用しにくい、鏡の配置も考慮して欲しい。
- ・防災の観点から、庁舎の配置に係る議論も同時に行った方がよい。
- ・JR 廃線を前提とした場合、バスターミナルとの連動が必要。

③C グループ

一〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・C グループでは、場所について、空いている学校用地に係る議論もあったが、駅周辺地区を前提に議論を進めた。
- ・駅周辺地区の津波想定や防災拠点となりうるのか、駐車場がどの程度確保できるか、駅周辺を留萌の玄関口とするための議論を行うためには、駅周辺地区の活用できるエリアなどの図面を示して欲しい。
- ・複合施設へのバスターミナル機能、コンベンション機能の導入。
- ・複合施設へのバスターミナル機能、コンベンション機能の導入が必要。
- ・道の駅との連動をどのように考えるかが課題。
- ・建替考え方として、耐用年数のみならず利用状況や施設特性なども考慮することが必要。

④D グループ

一〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・検討対象は社会教育施設だが、周辺地区整備まで含めると検討が拡大する方向にある。議論の枠組みを整理する必要がある。

- ・社会教育施設に学校施設を合築する考え方もある。
- ・体育館、公民館、ホールなども視察して議論の参考としたい。
- ・施設利用状況について、市民利用のみならず、市外からの利用状況もわかる資料がほしい。
- ・利用者や機能など、検討の視点の絞り込みが必要。
- ・子育て世代からの声を反映する機会を設けることが必要。
- ・多目的利用は、利用に結びつかない場合はあるので、利用目的の絞り込みという視点も必要。
- ・企業や法人とのジョイントによる整備も検討材料となる。
- ・旧留萌高校の利用も検討の俎上に乗せてもよいのではないかな。
- ・社会教育施設のみならず公共交通としての拠点機能の併せ持ってもよいのではないかな。
- ・船井公園との連携と考えた場合、交流人口増加が期待できるような施設整備が必要。
- ・今回あげられた課題と再度、検討会議などで検討することが必要。
- ・これからの世代からの意見を聴取することが必要。これを今後のまちづくりのビジョンに活かしていくことが必要。
- ・複合化については、社会教育施設のみならず、庁舎や子育て施設など公共施設も対象に考えていく必要があるのではないかな。
- ・今後の会議、ワークショップでは、女性や子育て世代からの視点も必要。会議時間も多くの人が集まりやすい設定としてほしい。

7. その他

―事務局より、意見交換にて出た意見をグループ化し、まとめたものを資料として配布すると連絡。

8. 閉会

―事務局より、室蘭市生涯学習センター「きらん」視察日程は、11月18日（水）を予定しており、時間については、詳細が決定次第案内を差し上げると連絡。

⇒R2.11.11 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催を見送ることで決定。